



ハイブリッドショアとAIで、日本企業のDXを加速

- 本社所在地：東京都墨田区
- 事業概要：受託開発、IT人材・運用、
人材紹介・教育
- 常時使用する従業員：258名（2026年8月時点）
- 現在の売上高：12億円（2026年3月期）
- 法人番号：6010001139161
- Web：https://gicjp.com/

企業理念・100億宣言に向けた経営者メッセージ



代表取締役社長
岩永 智之

「日本企業と海外パートナー双方の成功に貢献し、社員の人生の成功を実現する」

東京・宮崎・ミャンマーの人材とAIを結び、品質とコスト競争力を両立するハイブリッドショア開発を拡大します。売上高100億円への成長を通じ、日本企業のDXと人手不足の解決、地域雇用の創出、グローバル人材のキャリア・待遇向上を実現します。

売上高100億円実現の目標と課題

実現目標

【実現目標】

2036年に売上高100億円を達成します。
2026年3月期 11.8億円
→ 2030年 30億円
→ 2033年 60億円
→ 2036年 100億円
受託・ストック型売上比率を高め、人材・AI・クラウドへ再投資します。

課題

【課題】

- 大型案件を統括するPM/PL、上流・AI/クラウド人材の育成
- 採用拡大と案件創出・稼働率・品質の同時向上
- SES中心から受託・自社サービスへの収益構造転換
- セキュリティ・内部統制の強化と海外拠点リスクの分散

売上高100億円実現に向けた具体的措置

目指す成長手段

- ① 東京・宮崎・ミャンマーの開発体制を拡充し、宮崎は2029年に400名体制、海外は年100～120名の人材育成・採用を推進。
- ② 生成AIを設計・レビュー・テストに組み込み、従業員をAI・クラウド・上流工程へリスキリング。
- ③ マネージドサービス、クラウド/AI/DXソリューションを拡大し、2030年にストック型売上比率65%を目指す。
- ④ 人材紹介・教育、米国・アジア展開、M&A・提携で成長を加速。

実施体制

- 社長・取締役会直轄の成長推進体制
- ITソリューション各事業部、PMO、人材・教育、管理本部が四半期KPIを管理
- 東京・宮崎・ミャンマー・米国の拠点連携
- 金融機関、投資家、専門家、顧客、自治体、教育機関と協業
- 情報セキュリティ、品質、内部統制を段階的に強化

売上高100億円実現のロードマップ

【成長ロジック】

人材基盤の拡大 × AIによる生産性向上 × 受託・ストック型への転換で、年率約24%の成長を継続します。

【主要KPI】

- 2029年：宮崎400名体制、海外の新卒・若手人材を年100～120名規模で育成・採用
- 2030年：売上高30億円、ストック型売上比率65%
- 2036年：売上高100億円、国内外の複数拠点による安定供給体制を確立

売上高目標（億円）

